

# 平成26年度 南魚沼郡市道徳部活動報告

部長 須藤 高志

## 1 研究主題

- (1) 主題名 「心に響く道徳時間の工夫」
- (2) 設定の理由

道徳の教科化が急がれ、「私たちの道徳」が配布されて、現場発の道徳の時間の授業改善が求められる中、児童の心に響き、感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を図り、創意工夫ある指導が重要と考えた。

## 2 研究の概要

- (1) 南魚沼市学習指導センター道徳研修講座の受講
- (2) 南魚沼郡市小教研道徳部研修会の実施
- (3) 文部科学省委託「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究会への参加

## 3 研究の実際

- (1) 南魚沼市学習指導センター道徳研修講座の受講  
新潟県立教育センターの佐藤裕指導主事から「『私たちの道徳』をどう活用するか」をテーマとして講義を受けた。
  - ・『私たちの道徳』が作成された背景や内容の構成について講義を受けた。
  - ・『私たちの道徳』を活用した授業作りの構想を練る演習を行った。
- (2) 南魚沼郡市小教研道徳部研修会の実施  
南魚沼市学習指導センター道徳研修講座を受講したことから、部員一人一人が『私たちの道徳』のどこをいつどのように活用するか構想案を持ち寄り、低・中・高学年別にグループ協議を行った。
  - ・『私たちの道徳』授業構想案冊子とCD-Rを作成し、郡市内の全小学校に配布した。
  - ・塩沢小学校の岡村秀康校長から道徳の教科化の動きについて講義を受けた。
- (3) 文部科学省委託「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」研究会への参加  
文部科学省の委託を受け「進んでかかわり、自分も相手も大切にすることの育成」を研究テーマとする南魚沼市立六日町小学校の研究発表会に参加し、研修を深めた。
  - ・体験活動と道徳の授業との関連を重視した公開授業を参観し、「関連する体験活動が有効に働き、道徳的実践力の高まりが見られたか」を協議題とする研究協議会に参加して、意見交換を行った。
  - ・上越教育大学教職大学院の早川裕隆教授から「これからの学校教育が期待されること～新しい道徳を中心にして～」を演題とする講演をしていただいた。中教審の「道徳に係る教育課程の改善について（答申）」（案）を基に今後の道徳教育をどのように改善することが求められているか、考える機会となった。

## 4 成果と課題

- 道徳教育は学校の教育全体を通じて行わなければならないことを改めて確認する機会となった。『私たちの道徳』の活用場面や方法を部員がそれぞれの立場で考え、持ち寄ることによって、「なるほどこのようなやり方もあるのか」と互いに刺激しあえる研修を行うことができた。
- 道徳の授業改善は、道徳的価値について、子ども自身が自分とのかかわりを含めて内省的・多角的に考え、判断する認知的な能力、道徳的価値の大切さを感じて道徳的心情を高めるとともに、道徳的行動を行うための意欲や態度を育てることを意識して進めなければならない。教科化を見据えて、より子どもの心に響く道徳の実践を行う力量を高め合っていきたい。